## 平成26年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課

企画振興部地域振興局文化・スポーツ振興課

1. 施設名等

平成27年3月31日現在

· · //GILA II 17				1/20/10/10/10
施設名	萬翠荘	所在地	松山市一番町三丁目3番地7	
		電話	089-921-3711	
(設置年月日)	(大正11年)	HP	http://www.bansuisou.org/	

2. 指定管理者

指定管理者名 株式会社ウイン 指定期間 平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (5年間)

3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

	2.拍化官性付が11.7未物守
設置目的	萬翠荘の公開 施設の外観 県民の文化の振興を図るため、各種の行事又は集会の用に供する
施設内容	展示室(9室)、駐車場(約20台)
指定管理者が 行う業務	①萬翠荘の事業の実施に関する業務 ②萬翠荘の利用の許可に関する業務 ③萬翠荘の利用に係る料金の収受に関する業務 ④萬翠荘の利用の促進に関する業務 ⑤萬翠荘の施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務
施設の管理体制	様式会社ウイン     館 長(正規)     係 員(正規5名、請負1名)       本社事務     社 員(正規1名、経理等)
	利用料金制 🛛 採用している 🗆 採用していない
利用料金等	前年度からの変更 ☑ あり □ なし (変更ありの場合、その内容) 消費税率改訂に伴う変更
開館日·開館時間	((開館日)祝日でない月曜日が休館、それ以外が開館(観光シーズンにおいては、開館の場合あり) (開館日時)9時~18時

4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
県委託料(千円)	13,403	13,060	12,716	12,372	14,624	14,624

### 5. 施設の利用状況

(1)施設の利用者数と利用料金収入

<u> </u>						
年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	対前年度増減率
利用者数(人)	124,351	128,685	130,561	114,519	114,182	△ 0.3 %
利用料金収入(千円)	1,906	1,952	2,149	2,054	2,129	3.7 %



# (2)利用者数、利用料金収入の増減理由 対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由 (利用者数) -(利用料金収入)

### 6. サービスの質向上に向けた取組み

ア)サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は新たた	な取組み、※は	は利用者からの要望による取組み)
平成26年度の内容		平成27年度の内容(予定含む)
○自主企画による、萬翠荘・松山藩・久松家に関するパネル展示 及びDVD放映		【継続実施】 〇自主企画事業(パネル展示・DVD放映)の継続
及びDVD放映  ○南海放送ラジオ「萬翠荘アワー」の放送(萬翠荘スタッフ・松山		○   ○   日本正画事業(ハイル展示・DVD放映)の軽減  ○     ○
観光ボランティアガイド出演による、施設・歴史案内及びイベント		番組、地元フリーペーパー)による情報発信の継続
情報発信)  ○自主企画イベントの実施		○愛媛CATVの他、南海放送・FM愛媛の県政番組、各種情報  誌によるイベント告知を継続実施していく。
→4月6日を「よむ日」と題し、地元アナウンサー等による朗読会		○観光案内所、各種交通機関、ホテル、旅行会社へのパンフ
を開催。		レット配付による観光客誘致の継続。
トライン トライン トライン トライン トライン トライン トライン トライン		〇4月6日(よむ日)イベントとして、朗読会を定期イベントとして  定着させる。
〇休館日については、坂の上の雲ミュージアムと調整のうえ、観		☆昨年度開催した木藤たかお氏による文化講演会を皮切りに、
光シーズンにおいては、月曜を開館。また、夜間(18:00以降)の		愛媛CATV/神山充雅氏、作家/土井中照 氏、建築家/花岡直
利用要望に対しても対応を行っている。  〇館内に音声ガイドを設置し、各所の見所を紹介。		樹氏 等、地元郷土史や地域に密着した著名人による講演会を 定期開催する。
〇観光案内所、各種交通機関、ホテル、旅行会社へのパンフレッ		
ト配付による観光客誘致 ○ハ中高校の課外授業や写生大会等の利用時には、館内見学		
と		
☆県の事業により、屋外トイレの改修を実施した他、Wifiスポット		
を整備	J	
イ)利用者からの声への26年度の対応状況	<b>-</b>	
利用者からの評価や苦情・要望の主な内容		利用者からの苦情・要望への主な対応状況
○		〇イベント主催者に対しては、観光施設・文化施設の両面での 運営であることを事前に説明のうえ、理解を求めているものの、
のまた、施設内の清掃・維持管理に関しても、行き届いていると		利用当日においてイベント参加者から苦情を受けるケースがあ
の評価を得ている。		り、その際においても丁寧な対応に努めている。
○イベント開催時における、見学者側の施設の観覧が制限される  こと、イベント主催者・参加者の側からは、施設の締切不可での		
利用に対する苦情が稀にある。		
7. 26年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの	質点 トに向け	けた取組 シに関する確認。 冷証
指定管理者の自己検証		県の施設所管課の確認・検証意見
〇貸館利用実績は、利用件数 79件、開催日数ベースで268日(		
数339日 利用率79.1%)の状況となっており、1週間のうち5日に  らかのイベントが開催されている状況にあり、有効に利用されてい		り集各増加につなけている。さらなる広報沽動に努めていただきた
○職員の対応、施設の清掃維持管理に努め、来館者・利用者に対	対して、〇小中	中高生の課外授業時や写生大会等での利用時には、館内見学を
快適な環境の提供ができていると自己評価している。		こして、郷土の歴史、文化に触れる機会を提供するなどしている。
〇自主企画イベントについては、重要文化財指定記念イベントを写た平成24年度から継続して実施しており、定期イベントとして定着・		文化財としての萬翠荘の広報活動にさらに力を入れていただきた
いく。	〇松山	山観光ボランティアガイドとの連携により観光客向けに萬翠荘の案
	内・紹	介を行うことでさらなる観光客の増加につなげている。
8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証		

お、日正官連有制度の場合による別来と誘題の検証
 ・利用者象、利用料金収入とも順調に伸びており、指定管理者制度の導入効果が表れている。開館時間の設定、自主企画イベントや関係団体との共催イベントの実施など、指定管理者の運営手法によるもので高く評価できる。
 ・国の重要文化財指定を受け、文化的価値を十分に活かした施設運営に期待したい。
 ・平成26年度については、利用者数、利用料金ともに前年度に比べ同水準を維持している。新たなイベント等でさらなる利用者の増加につなげていただき

たい。
・貸館施設としての運営及び観光施設としての運営という2本立てでの運営が必要であり、バランス配分が難しいところではあるが、さらなる利用者の満足 度向上に努めていただきたい。